



よいことをえらぼう。

すべてをぎんみしてよいものをだいにしなさい。
(テサロニケー 5・21)



イエスさまはこのちじょうで、てんごくでいきているようなあいのおきてをいきるようにおしえてくれました。いつもあいしながら、かみさまがまわっていてけさることをおもう、かみさまといっしょにじゅんびしましょう。



イエスさまがてんにのぼってから、しとたちはさいしょのきょうどうたいにこのようにへいわとあいのうちにいきるようになりました。パウロはたびたび、たくさんのすすめをてがみにかいておくっていました。



たいじなことは、かれらがちょうわをたもちながら、よいいとをたすけ、あいのうちにおかしてあげながら、あいてをきずつけず、よいことをえらび、それをたもつようと、このことをわすれないうちになりました。



わたしはタイにすんでいて、8さいです。あるひ、ずこうのじかん、せんせい、いろをぬるようとデザインをわたしました。はじめようとしたとき、ひとりのともだちが、かなしいかおをしているのをみました。



いろえんぴつをわすれてました。たすけがみつようなのがわかりました。でもともだちは、しらないふりをしていました。おなじにできない！わたしは、かれにえんぴつをかすことにしました。



わたしはまことに、うれしく感じました。こまってるかれをたすけ、いちばんけいじなことをえらんがから、そしてクラスぜんぶが、いいふんいきになって、あいあい、みんなのきをくばるようになった。